

『開かれた学校づくり委員会』とは、

【委員の構成】

地域住民や保護者等の中から校長が推薦し県教育委員会が任命・委嘱した者及び当該学校の校長

【委員会の活動内容】

- 学校運営上の課題等の解決に向けた検討
- 地域との交流や家庭・地域の教育力向上のための取組
- 当該学校の自己評価をもとにした学校関係者評価の実施
- 学校を核とした県内1000か所ミニ集会の企画及び運営
- 学校や地域の実情に応じて、創意工夫を生かした諸活動の企画及び運営

平成26年度 開かれた学校づくり委員会 委員

委員名	役員、選出理由等
あきば たかゆき 秋葉 孝之	同窓生、地元で自営業
くろそう のりお 黒相 典生	PTA会長
わたなべ よしあき 渡邊 義幸	富里市立七栄小学校校長
とむら こうじ 戸村 広二	富里市立富里中学校校長
あいきょう みつぐ 相京 貢	富里市立富里南中学校校長
すずき もりお 鈴木 守雄	元県立高校校長
いしい ただし 石井 正	元公立小学校校長

平成26年度 開かれた学校づくり委員会 開催予定

回	日 時	主な議事内容	備 考
1	平成26年6月25日(水) 14:30 ~ 16:30	校長あいさつ及び本校運営方針の説明 今年度の活動について 学校を核とした1000か所ミニ集会 について	
2	平成26年10月8日(水) 14:30 ~ 16:30	学校を核とした1000か所ミニ集会 運営について 地域連携の強化について 学校改善に生かす学校評価について	授業参観 13:25~ 14:15
3	平成27年1月20日(火) 14:30 ~ 16:30	学校の自己評価の集計結果について 学校改善の方策について	

千葉県立富里高等学校開かれた学校づくり委員会 (第1回)

日 時 平成26年6月25日(水) 午後2時30分~4時

場 所 本校 第一応接室

議題

1 委員長, 副委員長の選出

委員長 秋葉孝之

副委員長 黒相典生

2 学校の状況について(報告・質疑)

(1) 平成25年度 開かれた学校づくり委員会からの提言 への取組

(2) ①総務部 ②教務部 ③生徒指導部 ④進路指導部

(3) 学校いじめ防止基本方針

3 今年度の活動について

(1) 今後の委員会開催予定について

(2) 平成26年度「学校を核とした1000か所ミニ集会」の企画について

予定日 11月26日(水) 15:30~16:30 会議室

(3) 学校評価について

保護者授業満足度 85%以上を目指す

千葉県立富里高等学校開かれた学校づくり委員会（第2回）

日 時 平成26年10月8日（水） 午後2時30分～4時

場 所 本校 第一応接室

議題

1 学校の状況について（報告・質疑）

・第1学年主任 ・第2学年主任 ・第3学年主任 ・授業参観について

2 「学校を核とした1000か所ミニ集会」の企画について

日 時 平成26年11月26日（水）午後3時50分～午後4時30分

（公開授業の後、実施）

場 所 本校 会議室

テーマ 『地域になくてはならない学校とは』

全体会のみで実施していたが、今年は分科会を実施し、より多くの意見をいただけるようにする。

地域の方々の参加を増やすための具体的な方法等の意見が出された。

3 学校評価アンケートについて

アンケート項目等の確認を行った。

4 その他

・「開かれた学校づくり」研修会（8月20日）の報告

・「授業錬磨の公開日」について

・「芸術鑑賞会に」について

千葉県立富里高等学校 1000か所ミニ集会

日 時 平成26年11月26日(水) 午後3時45分～4時45分
場 所 本校 会議室
出席者 26名

テーマ 『地域になくてはならない学校とは』

授業公開(5・6限)を見学した後、1000か所ミニ集会を開催した。

今回はA・B・C3つの分科会に分かれて話し合いを行った。地域の方々や保護者の方々から、様々な視点での意見をいただくことができた。開かれた学校づくり委員会で、今回の意見をまとめ、学校への提言につなげる。

千葉県立富里高等学校開かれた学校づくり委員会(第3回)

日 時 平成27年1月20日(火) 午後2時30分～3時50分
場 所 本校 第一応接室

議題

- 1 「学校を核とした1000か所ミニ集会」について
- 2 授業錬磨の公開日アンケート結果について
- 3 学校評価の集計結果について
- 4 学校評価の自己評価について
- 5 学校改善の方策(提言)について

「学校を核とした1000か所ミニ集会」で地域の方々や保護者の方々からいただいた意見や、授業錬磨の公開日アンケート結果、学校評価の集計結果から様々な課題・問題点を考察し、次年度の改善方策などを委員会から提言をいただいた。

【 委員会からの提言 】

富里高校は、生徒の総合的な力をよく伸ばしている。授業にのぞむ姿勢、制服の着こなし、清掃活動など、他校に誇れる伝統ができてきている。

学校評価の生徒・保護者・職員のアンケート結果を見ても、昨年度の数値よりほとんどのものが良くなっており、学校改善がすすんでいることがわかる。特に職員の授業改善に対する取組が生徒の授業評価に反映している。このような活動を継承しつつ、更に発展をするための提言を行う。

1 生徒の家庭での授業の予習・復習習慣について

- ・小・中学校と同じく数値が低い、宿題を出し、活動を教員が評価し、やりがいや喜びから学ぶ習慣を自分のものにさせる。
- ・生徒一人一人の進路に向けた活動全般が、大きな意味での学習活動であり個々の進路実現に向けた自らの取組が大切である。

2 地域との連携・貢献を図る

- ・市内に1校しかない高校であり、小・中学校との連携を更に密にする。
- ・小・中学校への出前授業を増やす。
- ・地域のイベント（スポーツ、文化系部活動の演奏・発表なども含め）へのボランティア参加を更に増やす。

3 学校評価の精度を高める

- ・アンケートに記述欄をもうけ一人一人の具体的な意見を把握する工夫をしてはどうか。
- ・今回は保護者の回答率は50%強であるが、正しい意識を把握するためより多くの回答を得る必要があるのではないか。